

伊勢志摩サミット記念館（仮称）について

1 設置目的

伊勢志摩サミット開催を記念し、サミットの概要や使用された調度品・県産材等の紹介を行うことなどにより、サミットのレガシー（資産）を次世代に引き継ぐ場として、伊勢志摩サミット記念館（仮称）（以下「記念館」という。）を設置します。

2 設置場所

賢島駅2階（約295.7㎡）

3 設置時期

平成29年5月末（サミット開催1年後）までの間において設置します。

4 設置期間

日本における次期サミットの開催年まで設置することとし、その後の対応については当該設置期間の終了までの間に、伊勢志摩サミット三重県民会議（以下「県民会議」という。）、近鉄グループホールディングス株式会社（以下「近鉄」という。）、志摩市の三者間で利用状況等を勘案し決定することとします。

5 想定する基本機能

伊勢志摩サミットの概要を写真、映像、現物等で展示するとともに、賢島を起点とした周遊観光のための情報発信機能や次世代を担う子どもたちの学びの場を創出する機能を有するものとします。

また、来訪者に飲食及び物販を記念館又は記念館と一体的に整備する喫茶スペースで提供することにより駅及び記念館利用者の利便性を満たす空間を創出します。

6 記念館の整備及び運営

（1）記念館の整備

記念館の設置に係る整備（賢島駅2階改修工事及び内装・展示設営等）は、県民会議が実施し、その費用は県民会議が負担します。

（2）記念館の運営

記念館の運営は、志摩市が実施し、その費用は志摩市が負担します。

運営に当たっては、賢島駅2階の記念館設置箇所を近畿日本鉄道株式会社から志摩市が借り受けて記念館を運営します。

7 記念館の概要（案）

（1）展示内容

サミット当日の雰囲気を感じていただくため、サミットで実際に使用した円卓や贈呈品を展示するとともに、国際メディアセンターアネックスで使用された部材（檜柱、木製簾、木製黒壁）を記念館において使用します。

(展示例)

- ①誘致活動に関する写真パネル展示
- ②サミットの誘致決定時の写真パネル展示
- ③等身大記念写真等パネル展示
- ④首脳会議用円卓・椅子の実物展示
- ⑤公式記録の展示（写真パネル、動画）
- ⑥観光情報の発信
- ⑦首脳等への贈呈品等の実物展示
（カップ&ソーサー、文箱&真珠付ボールペン、コアウツドの置時計等）
- ⑧サミットで使用された食材等の写真パネル展示
- ⑨県民によるおもてなしの様子写真パネル展示

(2) 体験型展示の充実

子どもたちにとって記念館が学習機会の場として魅力的なものとなるように、例えば、首脳会議用円卓・椅子に触れていただきサミットの雰囲気を感じていただくなど、体験型要素を取り入れた展示の充実を図ります。

(3) 飲食・物販

県民会議、志摩市、近鉄の三者間でその具体的な運営方法等について調整中です。

8 スケジュール（現時点における予定）

- ・ 3月下旬：内装・展示案検討終了、賢島駅2階改修工事完了
- ・ 4月上旬：内装・展示設営着手
- ・ 5月下旬：内装・展示設営完了、記念館オープン